

夏秋イチゴ試験栽培

「すずあかね」に照準

夏秋イチゴの収穫作業を行う、あぐりん伊勢の社員



【三重・伊勢】JA伊勢の子会社、あぐりん伊勢が夏秋イチゴ「すずあかね」の栽培に取り組んでいる。夏秋イチゴは冬春イチゴの出荷がない夏秋シーズンに出荷できるため、夏場の収益が得られ、年間を通した雇用が可能だ。本年度は約3畝で試験栽培し、収穫が始まった。

本年度は、昨年試験栽培を行った3品種のうち、形や収量などの面で優れていた「すずあかね」に絞り、試験栽培を継続している。本年度産は高設ベンチに

三重・JA伊勢
子会社あぐりん伊勢

マルチを使用しないことで、熱を逃がす工夫をした。約2カ月定植を早めることで根を張らせ、株を強くした。これにより、昨年度よりも果実が大きく、品質も上々だ。引き続きハウ

夏場の収益増期待 安定収量の確保めざす

ス内環境の管理を行い、安定した収量確保に取り組む。

同社の担当者は「昨年度の反省を生かし増収につなげるとともに、病害虫をあらかじめ防除して生産ロスを減らしていきたい。収量を確保して、地域の需要にも応えていきたい」と話す。

収穫は11月まで続き、イチゴはJA全農みえを通して市場へ出荷する他、地元の実子店やカフェなど3店舗へ提供している。